

基本情報

指標番号

2041

名称

ハイリスク妊娠・分娩症例の割合

分母

妊娠あるいは分娩に関連する疾病の治療・分娩のために入院した患者

分子

分母のうち、ハイリスク妊娠・分娩管理加算を算定された症例

指標群

周産期系

意義

周産期における二次・三次医療機関としての役割を見る

年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020,2022

必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

指標の定義算出方法

分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、妊娠あるいは分娩に関連する疾病の診断を受けた症例。いずれかの病名の ICD-10 コードとして以下のいずれかが含まれる症例

ICD-10 コード	病名
O\$	妊娠、分娩および産褥

3. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

分子の定義

1. ハイリスク妊娠管理加算かハイリスク分娩管理加算を受けた症例。E/F ファイルの診療行為の点数コードのいずれかに以下が含まれる症例

レセ電コード	診療行為名	診療行為コード	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
190128110	ハイリスク妊娠管理加算	A236-2	○	○	○	○	○	○	○
190238150	ハイリスク妊娠管理加算 (診療報酬上臨時的取扱)	A236-2						○	○
190120710	ハイリスク分娩管理加算	A237	○	○	○	○	○	○	○
190238250	ハイリスク分娩管理加算 (診療報酬上臨時的取扱)	A237						○	○

その他

薬剤一覧の出力

いいえ

リスク調整因子の条件

指標の算出方法

分子÷分母

指標の単位

パーセント

結果提示時の並び順

降順

測定上の限界・解釈上の注意

1. 当該管理料を算定するにはハイリスク妊産婦を適切に管理するとともに、一定数以上の産科医師や一定数以上の分娩を実施しているなどの施設基準が定められている。すなわち当該管理料の算定の有無はストラクチャー的要素に依存する。
2. 地域連携分娩管理加算が2022年から創設されたが有床診療所向けの加算のようなので今回は載せていない

参考資料

参考値

参考資料